

『ナチュラルリーグ』 ルールブック(2020年度版)

☆競技規則

ナチュラルリーグ運営委員会

I 試合方法

- 1) イニング・時間制限
原則、回数は**5イニング**又は**55分**を超えて次の回には入らない。
- 2) コールドゲームは適用しない
- 3) 雨天等により試合続行不可能な場合
3イニング経過までは再試合とする。4イニング以降はコールド制を採用する(同点の場合は再試合)
- 4) 引き分け時には延長戦等は実施しない(そのまま引き分けとする)

II 試合ルール

- 5) 試合球は公認ソフトボール(公認3号)ゴムボールとする。
 - ① 試合前に各チーム1球ずつ試合球を出して下さい。(サタデーナイト戦)
 - ② 試合後にお返しますが、ボールが無くなった場合はお返し出来ない場合もあります。
- 6) 投手の登板及び他の投手の救援をする際の準備投球は5球以内とし、以降各回の準備投球は3球以内とする(ただし1分以内)
- 7) 靴は運動靴か、ゴムポイント付シューズとする(金属スパイクは危険なので禁止します)。
 - ① 運動靴も認めます
- 8) ユニホーム保持者はユニホームを着用して下さい
- 9) 選手起用について
 - ① 助っ人の起用について、**打順は下位打線、守備は投手・捕手以外**とする。
※選手の呼び方:正規選手、非正規選手、助っ人(当日参加チームより借用選手)
 - ② ピッチャーは背番号を持っている正規選手のみ可能(**助っ人は登板出来ない**)
 - ③ ピッチャーをする人は登録している背番号で自チームの**ユニホームを着用**すること。
- 10) 打席に立てる人は10人までとします。(EH制、DH制の採用)
 - ① EH制の採用… 投手も打席に立ち、1人守備に付かず打席に立つことが可能
 - ② DH制の採用… 投手は打席に立たず、2人守備に付かず打席に立つことが可能
 - ③ 10人以下の参加者の場合、投手は基本的に打席に立つこと
 - ④ 9人以上は打席に立つこと
- 11) 試合開始時は審判員の合図と同時にホームプレートをはさんで整列して下さい。
- 12) 攻守順の決定は各チーム代表のじゃんけんによって行います。
- 13) 四死球、犠牲フライ、三振、振り逃げ、ワイルドピッチ、パスボール、盗塁は認めます。
- 14) 打者の**連続2名以上のバントは禁止**します。2人目が行った場合アウト。ただし構えはOK。
- 15) フェールライン及び柵を超えた場合、柵にあたった場合はテイクワンベースです。
- 16) 打席にはヘルメットを着用して入ること、キャッチャーはレガースを着用すること。
- 17) メンバー交替については監督若しくはそれに準ずる人が審判に申告して下さい。
- 18) リエントリー制を認めます。使用時は審判に申告して下さい。
- 19) 規定投球回数を制限します。『サタデーナイト戦』1人の投手が**Max.5イニング／人・日の登板**が可能です。
『各季大会』1人の投手が**Max.8イニング／人・日の登板**が可能です。
投手の投球回数は、スコア表の投手登板欄へ記入する。(記録係)
- 20) 投手の投球姿勢及び動作の違反については注意するものとする。
(注意をされた投手は出来るだけ気をつけること)
- 21) 時間がかかる行為、及び走者のいない塁へ送球しないこと。
- 22) 離塁違反については、違反走者に注意を促し離塁違反前のプレー(1球前の投球)から実施する。
但し2度目の離塁違反は「アウト」とする。
- 23) 助っ人の服装は自由とするが、運動出来る格好であること。
- 24) 試合開始時間までに人数が揃わない場合はリーグ戦参加チームから助っ人を借りることは可能。
しかし、**リーグ戦参加チームから助っ人を3名以上借りた場合は、不戦敗とし、練習試合を実施する。**
- 25) 練習球、グローブ、バット等は各チームで準備管理すること
- 26) 投捕間 14.02m(一般)、13.19m(女性・50歳以上)、塁間18.29m とします。
グラウンド準備については別紙参照
- 27) 不明確な事態が発生した場合は運営委員及び各チーム代表者が協議の上、決定する。
上記に掲載していないルールの問題があった場合は『審判』に判断を委ねるため、その決定事項に従うこと。(但し、原則は日本ソフトボール・ルールとする)

28) グラウンド準備、整備、片付け(サタデーナイト戦)

項目	担当チーム	備考
グラウンド準備	第1・2試合を行うチーム	デッドライン・ピッチャーサークルを引く
第1試合終了後整備	第1・3試合を行うチーム	トンボによる整備、ライン引き
第2試合終了後整備	第1,2試合を行うチーム	トンボによる整備、ライン引き
グラウンド片付け	第2,3試合を行うチーム	

☆審判・記録について

- 29) 試合をしないチームから主審、1塁線審・2塁線審、3塁線審・記録・ボールボーイをお願いします。
審判は途中交替をして頂いても構いませんが、2回の裏若しくは3回の裏終了時のみ交替を認めます。
- 30) 審判は外野やベンチもわかるよう、大きな声・大きな動作(ゼスチャー)で行って下さい。
- 31) 主審は交替等を告げられた場合は相手チームに報告して下さい。
- 32) 審判は著しく気分を害する行為を行った選手に対し、退場させることができます。
- 33) 審判は一度判定をしたら、基本的には判定を変えないで下さい。
- 34) 記録はスコアボード、スコア記録表に点数を書き込み、試合終了後、運営委員に渡して下さい。
- 35) 人数が揃わず試合をキャンセルをした場合でも、リーグ戦分の試合の審判を出して下さい

☆運営に関する注意事項

- 36) 代表者会議で説明又は決められた事項は、チーム全員に必ず徹底させて下さい。
- 37) 「親善」が目的ですので、相手チームへの野次(非難)・審判への苦情は控えて下さい。
審判の采配に対しての問い合わせは、各チームの監督・主将、又は試合開始時に整列した時、一番審判側に立った人のみに認めます。
- 38) ごみの処理については次の通りに実施すること
 - ① 最終試合終了後、試合を行ったチームはベンチ周り、審判・記録チームはバックネット周りのごみを集めて持ち帰ること(JFEグラウンドの場合はごみ箱あり)
 - ② 自分のチームが出したごみかどうかは関係なく、きれいにすること。
最後に運営委員会が最終確認をします。
- 39) タバコのマナーについては次の通りに実施すること。守らない方は出入り禁止とします。
 - ① 喫煙はベンチ裏でのみOK(ベンチ内は禁止)
 - ② 喫煙しながらグラウンド内へ入ることは厳禁。
 - ③ 投げ捨ては厳禁です。また吸殻は責任を持って持ち帰ること。
- 40) 救急箱は各チームで準備して下さい。
- 41) 参加するメンバーは必ず保険に加入して下さい。大会開催中発生する事故(疾病・傷害等)については主催者は一切責任を負いません。
- 42) 雨天時の判断は、大会集合時間2時間前に行き、大会運営委員から各チームに連絡します。
中止の判断は、自然災害(雨、台風など)・グラウンドコンディションが悪い場合などで判断します。
雨天中止した試合や大会の延期分はありません。
- 43) 大会進行準備、後片付け等主催者の指示に従いスムーズな運営が出来るようにご協力下さい。
- 44) 優勝チームには賞状と盾を準備します(盾は持ち回り)。
- 45) 助っ人に対し、連れてくる代表者若しくはそれに準ずる人はリーグルールを徹底させて下さい。
(不祥事があった場合はそのチームの責任です)